

A 会場（杏林大学医学部講義棟 A 3F 301/302）**開会式****9:00 ～ 9:05**

山田 深（杏林大学医学部 リハビリテーション医学教室）

教育講演 1**9:05 ～ 9:45**

座長：辻 哲也（慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室）

EL1 脳腫瘍と失語症の支持療法－外来 ST によることばとこころの支援－

石井 由起

杏林大学保健学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻

教育講演 2**9:45 ～ 10:25**

座長：水野 勝広（東海大学医学部専門診療学系 リハビリテーション科学）

EL2 脳腫瘍リハビリテーションにおける神経可塑性と運動療法

山口 智史

京都大学大学院医学研究科 先端リハビリテーション科学コース

先端理学療法学講座 運動機能解析学分野

教育講演 3**10:25 ～ 11:05**

座長：成田 善孝（国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科）

EL3 脳腫瘍リハビリテーションは何をしているのか－具体的支援と多職種連携－

櫻井 卓郎

国立がん研究センター中央病院 リハビリテーション室

シンポジウム 3

11:05 ~ 11:45

「脳腫瘍支持療法の展望」

座長：野村 恵子（NPO 法人脳腫瘍ネットワーク）

田代 祥一（杏林大学医学部 リハビリテーション医学教室）

S3-1 日本における脳腫瘍患者の純生存率の推移（2000～2014年）（CONCORD-3）ガテリエ ローリン¹⁾ 杉山 裕美²⁾ 松田 智大¹⁾ 中田 佳世³⁾、Michel P Coleman^{4,5)}、Claudia Allemani⁴⁾、Veronica Di Carlo⁴⁾、

Japanese CONCORD-3 Working Group

¹⁾ Division of International Health Policy Research, Institute for Cancer Control, National Cancer Center、²⁾ Department of Epidemiology, Radiation Effects Research Foundation、³⁾ Cancer Control Center, Osaka International Cancer Institute、⁴⁾ Cancer Survival Group, Department of Non-Communicable Disease Epidemiology, London School of Hygiene and Tropical Medicine、⁵⁾ Cancer Division, University College London Hospitals NHS Foundation Trust**S3-2** 悪性脳腫瘍を有する患者における Palliative Prognostic Index による予後予測の課題清川 樹里^{1,2)}、樋口 芙未¹⁾、原 絵津子²⁾、蓮江健一郎²⁾、出江 紳一²⁾、鈴木 龍太²⁾、辛 正廣¹⁾¹⁾ 帝京大学医学部 脳神経外科、²⁾ 鶴巻温泉病院 緩和ケア科**S3-3** PS 不良膠芽腫症例の治療継続ニーズにどう応えるか足立 吉陽^{1,2)} 駿河 和城²⁾、為佐 信雄²⁾、伊達 勲²⁾¹⁾ 岡山ろうさい病院 グリオーマサポートセンター、²⁾ 岡山ろうさい病院 脳神経外科**S3-4** 悪性脳腫瘍患者に対する意思決定支援の実際と課題に関するスコーピングレビュー徳永 瑠奈¹⁾、安東 彩乃²⁾¹⁾ 上智大学、²⁾ 帝京大学

ランチョンセミナー 1

12:00 ~ 13:00

座長：田中 將太（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 脳神経外科学）

LS1 脳腫瘍における分子診断・治療の進歩と患者ケア・支持療法Advances in Molecular Diagnostics and Treatment of Brain Tumors:
Patient Care and Supportive Care

永根 基雄

杏林大学医学部 脳神経外科学／杏林大学医学部附属病院 臨床研究センター

共催：小野薬品工業株式会社

特別講演

13:10 ~ 14:10

座長：山田 深（杏林大学医学部 リハビリテーション医学教室）

SL

宇宙環境利用と生活、宇宙医学とリハビリテーション

古川 聡

杏林大学医学部

企画シンポジウム

14:20 ~ 15:20

「脳腫瘍診療を支えるリハビリテーション～自主トレーニングの指導～」

座長：佐伯 覚（産業医科大学医学部 リハビリテーション医学講座）
松田 恭平（東京天使病院）

SS1

運動麻痺のある脳腫瘍患者への自主トレ指導のポイント

馬場 千夏

京都大学医学部附属病院 リハビリテーション部

SS2

摂食嚥下障害について～言語聴覚士からのアドバイス～

松岡 藍子

国立がん研究センター中央病院

SS3

高次脳機能障害の理解とより良い対応のために

小島 一宏

慶應義塾大学病院 リハビリテーション科

SS4

脳腫瘍患者に対する基本動作・ADL・IADL 支援のポイント

田畑 阿美

京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻

B会場（杏林大学医学部講義棟 A 4F 401）

**シンポジウム 1
「リハビリテーション」**

9:45 ~ 10:25

座長：佐々木 光（国際医療福祉大学市川総合病院 脳神経外科）
田尻 寿子（静岡県立静岡がんセンター リハビリテーション部）

S1-1 覚醒下脳腫瘍摘出術における言語聴覚士の関わり
～術前検査から言語タスク選定と実施、訓練まで～

山口 春菜¹⁾、山川 曜²⁾、音琴 哲也²⁾、中村 英夫²⁾、坂田 清彦²⁾、
松瀬 博夫¹⁾

¹⁾ 久留米大学 リハビリテーションセンター、²⁾ 久留米大学 脳神経外科学講座

S1-2 脳腫瘍に関連した視機能障害に対する多職種連携によるリハビリテーション
の実践とその効果

林 雄李¹⁾、瀬戸 寛子²⁾、川口美奈子¹⁾、豊田 正成¹⁾、久保 真衣²⁾、
田川 楓²⁾、草葉 隆一¹⁾、田中 友章¹⁾、阿野菜々美¹⁾、藤岡 寛³⁾、
吉本 幸司³⁾

¹⁾ 九州大学病院 リハビリテーション部、

²⁾ 九州大学病院 眼科視能訓練士、³⁾ 九州大学大学院医学研究院 脳神経外科

S1-3 術後膠芽腫患者における歩行能力と予後
～退院時歩行到達度に基づく予後予測と支持療法への示唆～

常盤 周平^{1,2)}、夏目 恵介²⁾、吉田 輝¹⁾、米澤 大³⁾、河村健太郎¹⁾、
花谷 亮典³⁾、下堂蘭 恵¹⁾

¹⁾ 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 リハビリテーション医学、

²⁾ 鹿児島大学病院 リハビリテーション部、

³⁾ 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 脳神経外科学

S1-4 下肢装具を作製した脳腫瘍患者の傾向－症例集積研究

倉本葉津美¹⁾、田代 祥一²⁾、古地 由佳¹⁾、辻川 将弘²⁾、齊藤 邦昭³⁾、
小林 啓一³⁾、永根 基雄³⁾、佐々木重嘉³⁾、田中 洋次³⁾、山田 深²⁾

¹⁾ 杏林大学医学部附属病院 リハビリテーション室、

²⁾ 杏林大学医学部 リハビリテーション医学教室、

³⁾ 杏林大学医学部 脳神経外科学教室

シンポジウム 2 「ACP」

10:25 ~ 11:05

座長：阿部 竜也（佐賀大学医学部 脳神経外科）
櫻田 香（鶴谷会鶴谷病院 脳神経外科）

- S2-1** 脳腫瘍患者におけるアドバンス・ケア・プランニングの質問紙調査
柳澤 俊介、大野 誠、河内 大輔、大村 鷹希、吉浦 徹、渡邊 元、
関 総一郎、成田 善孝
国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科

- S2-2** 当院における膠芽腫患者への Advance Care Planning 支援の運用と課題
鎌田 一晃¹⁾、大橋 未涼²⁾、長野 朋佳²⁾、山口 智恵²⁾、服部佳世子²⁾、
岡本 貴成¹⁾、谷川 成佑¹⁾、谷山 市太¹⁾、山中 巧¹⁾、橋本 直哉¹⁾
¹⁾ 京都府立医科大学附属病院 脳神経外科学教室、
²⁾ 京都府立医科大学附属病院 看護部

- S2-3** 療養先選択に難渋した悪性脳腫瘍患者に対する看護師の ACP 支援の一例
樋渡 渚¹⁾、勅使川原明彦²⁾、丸山 結衣¹⁾、田中 なお¹⁾、齋藤 孝司²⁾、
栃木 悟²⁾
¹⁾ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 看護部、
²⁾ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 脳神経外科

- S2-4** 悪性脳腫瘍患者のためのグリオーマホスピスの実際
副田 明男¹⁾、辻 若子²⁾、渡邊 知伽³⁾、可児 朋香³⁾、齋藤 裕樹⁴⁾、
高見 洸輝⁵⁾、大野 香⁵⁾、高柳 麻衣⁶⁾
¹⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 脳神経外科、
²⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 薬剤部、
³⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 看護部、
⁴⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 医療連携課、
⁵⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 リハビリテーション科、
⁶⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 栄養管理室

シンポジウム 4 「小児・AYA 世代」

11:05 ~ 11:45

座長：寺島 慶太（国立成育医療研究センター 小児がんセンター 脳神経腫瘍科）
近田 藍（京都府立医科大学医学部看護学科・大学院保健看護学研究科）

- S4-1** 若年性悪性神経膠腫（HGG）の終末期における退院支援の障壁について
岡本 麻里¹⁾、田中 一寛²⁾、長嶋 宏明²⁾、橋口 充²⁾、上岡 美和³⁾、
蓬萊 節子³⁾、篠山 隆司²⁾
¹⁾ 神戸大学医学部附属病院 患者支援センター
²⁾ 神戸大学医学部附属病院 脳神経外科
³⁾ 神戸大学医学部附属病院 看護部

S4-2 前頭葉膠芽腫術後の患者に対し、就労支援プログラムを用いたリハビリテーションを行った症例

門田日菜子、谷口 稜

五反田リハビリテーション病院

S4-3 妊娠継続下に手術を施行し集学的治療を行った小脳悪性腫瘍の1例

青木 恒介、大岡 史治、出口 彰一、芝 良樹、本村 和也、齋藤 竜太

名古屋大学医学部 脳神経外科

S4-4 小児・AYA 世代脳腫瘍患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン

齋藤 竜太

名古屋大学大学院医学系研究科 脳神経外科

ランチョンセミナー 2

12:00 ~ 13:00

「小児脳腫瘍診療の最前線 — 疾患理解から包括的ケアまで —」

座長：山田 深（杏林大学医学部 リハビリテーション医学教室）

LS2-1 小児脳腫瘍診療における治療戦略の多様性と支持療法

鈴木 智成

埼玉医科大学国際医療センター 小児脳脊髄腫瘍科 / 脳神経外科

LS2-2 小児脳腫瘍の緩和ケア

多田羅竜平

大阪市立総合医療センター 緩和ケア内科

共催：大原薬品工業株式会社

◆ポスター会場（杏林大学医学部講義棟 A 1F ロビー）

ポスター 1 15:30 ~ 16:10
「ACP」

座長：齊藤 邦昭（杏林大学医学部 脳神経外科）

P1-1 意識障害を伴う脳腫瘍患者への ACP 支援：多職種連携と系統的支援で紡ぐ
“その人らしさ”

有松 海人¹⁾、札幌 博貴¹⁾、安部 杏里²⁾、上田 冴子²⁾、片岡 桃音²⁾、
武石 雅代²⁾、前田 寛太¹⁾、榎井 泰朋¹⁾、秦 暢宏¹⁾、井上 亮³⁾、
藤木 稔¹⁾

¹⁾ 大分大学医学部 脳神経外科、²⁾ 大分大学医学部附属病院 看護部、

³⁾ 大分大学医学部 実践看護学講座

P1-2 膠芽腫患者の終末期医療の現状～看取り場所に関する後方視的検討～
吉浦 徹¹⁾、大野 誠¹⁾、柳澤 俊介¹⁾、河内 大輔¹⁾、大村 鷹希¹⁾、
渡邊 元¹⁾、関 総一郎¹⁾、大村 朋子²⁾、宮北 康二²⁾、成田 善孝¹⁾

¹⁾ 国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科、

²⁾ がん研有明病院 脳腫瘍外科

P1-3 グリオーマホスピスにおける悪性脳腫瘍患者の社会的支援

齊藤 裕樹、辻 若子、可児 朋香、渡邊 知伽、大野 香、高見 洸輝、
高柳 麻衣、副田 明男

公立学校共済組合 東海中央病院

P1-4 ニーズを尊重し多職種連携で提供するグリオーマホスピスでのリハビリ
テーション

高見 洸輝、大野 香、今尾 智恵、高柳 麻衣、齊藤 裕樹、渡邊 知伽、
可児 朋香、辻 若子、副田 明男

公立学校共済組合 東海中央病院

ポスター 2 15:30 ~ 16:10
「QOL」

座長：伏屋 洋志（静岡県立静岡がんセンター リハビリテーション科）

P2-1 患者の意向と家族の介護負担評価に基づき在宅療養へ移行した肺癌脳転移
による失語症の一例

八木橋史佳¹⁾、村岡 法彦¹⁾、呂 隆徳¹⁾、大田 哲生²⁾

¹⁾ 旭川医科大学病院 リハビリテーション部、

²⁾ 旭川医科大学病院 リハビリテーション科

P2-2 膠芽腫患者における化学療法中のがん関連倦怠感と QOL の経時的变化

田中 琳良¹⁾、大浦 敦樹¹⁾、甲元虎太郎¹⁾、松永 一真¹⁾、眞鍋 朋誉¹⁾、
森田 伸¹⁾、三宅 啓介²⁾、多々納幹貴²⁾

¹⁾ 香川大学医学部附属病院 医療技術部 リハビリテーション部門、

²⁾ 香川大学医学部 脳神経外科

P2-3 機能障害の可視化と定期的なフィードバックが ADL 能力および心理面に影響した可能性のある転移性脳腫瘍患者の一症例

甲元虎太郎¹⁾、眞鍋 朋誉¹⁾、松永 一真¹⁾、田中 琳良¹⁾、森田 伸¹⁾、
小川 大輔²⁾、三宅 啓介²⁾

¹⁾ 香川大学医学部附属病院 医療技術部 リハビリテーション部門、

²⁾ 香川大学医学部 脳神経外科学

P2-4 「人生最大・最後の目標は手芸作品展示会に出ること」を支えた ACP と治療選択：高齢 GBM の一例

勅使川原明彦¹⁾、齋藤 孝司¹⁾、浅田 美香²⁾、関根 智美²⁾、佐竹 優紀¹⁾、
堀内 一史¹⁾、舘 林太郎¹⁾、栃木 悟¹⁾、村山 雄一³⁾、田中 俊英¹⁾

¹⁾ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 脳神経外科、

²⁾ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 看護部、

³⁾ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 脳神経外科

ポスター 3
「治療介入」

15:30 ~ 16:10

座長：小林 啓一（杏林大学医学部 脳神経外科）

P3-1 小児 DIPG に伴う水頭症に対する ETV の症状緩和効果

纈纈 雄太、出口 彰一、山口 純矢、大岡 史治、青木 恒介、芝 良樹、
竹内 和人、永田 雄一、齋藤 竜太

名古屋大学大学院医学系研究科 脳神経外科

P3-2 Landmark models (LM) , RMST (restricted mean survival time) , IPTW (inverse-probability-of-treatment weighting) 解析による後期高齢脳転移患者に対する治療効果の検証

田中 俊英^{1,3)}、山本 洋平²⁾、勅使川原明彦³⁾、赤崎 安晴¹⁾、村山 雄一¹⁾

¹⁾ 東京慈恵会医科大学附属病院 脳神経外科、

²⁾ 東京慈恵会医科大学西部医療センター 脳神経外科、

³⁾ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 脳神経外科

P3-3 術後膠芽腫患者における退院時排尿自立の関連因子—術後早期の意識水準の変化に着目して—

夏目 恵介¹⁾、吉田 輝²⁾、常盤 周平^{1,2)}、米澤 大³⁾、河村健太郎²⁾、
花谷 亮典³⁾、下堂蘭 恵³⁾

¹⁾ 鹿児島大学病院 リハビリテーション部、

²⁾ 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 リハビリテーション医学、

³⁾ 鹿児島大学 脳神経外科学

P3-4 初発 PCNSL におけるせん妄の発生頻度と臨床的意義の検討

佐々木重嘉¹⁾、齊藤 邦昭¹⁾、小林 啓一¹⁾、松田 恭平²⁾、長島 文夫³⁾、
坪井 貴嗣⁴⁾、山田 深⁵⁾、井関 久美⁶⁾、田中 洋次¹⁾、永根 基雄¹⁾

¹⁾ 杏林大学医学部 脳神経外科、²⁾ 東京天使病院 リハビリテーション科、

³⁾ 杏林大学医学部 腫瘍内科、⁴⁾ 杏林大学医学部 精神神経科、

⁵⁾ 杏林大学医学部 リハビリテーション科、⁶⁾ 杏林大学医学部附属病院 看護部

ポスター 4**15:30 ~ 16:10****「小児」**

座長：西田 大輔（東海大学医学部 リハビリテーション科学）

P4-1 当院で治療を行った小児脳幹部グリオーマ症例の終末期を迎えた場所の検討

大岡 史治、瀨瀬 雄太、青木 恒介、芝 良樹、齋藤 竜太

名古屋大学大学院医学系研究科 脳神経外科

P4-2 右視床腫瘍摘出術後に左重度麻痺を呈したが、独歩獲得・復学に至ったびまん性正中性グリオーマ症例

福田 章真¹⁾、佐藤 克成¹⁾、中川 莉子¹⁾、柴田 篤志¹⁾、出口 彰一²⁾、
大岡 史治²⁾、齋藤 竜太²⁾

¹⁾ 名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部、

²⁾ 名古屋大学医学部附属病院 脳神経外科

P4-3 小児悪性神経膠腫患者に対する目標共有に基づく作業療法介入の経験：ADOC2を用いた復学支援の一例

阿野菜々美¹⁾、林 雄李¹⁾、荒川 友美¹⁾、大場 詩子²⁾、山本 俊亮²⁾、
酒井 康成²⁾、川口美奈子¹⁾、豊田 正成¹⁾、藤岡 寛³⁾、吉本 幸司³⁾

¹⁾ 九州大学病院 リハビリテーション部、²⁾ 九州大学医学部 小児科、

³⁾ 九州大学大学院医学研究院 脳神経外科

P4-4 高校生脳腫瘍患者の希望実現に向けた看護実践

～“自分らしく今を生きる”ことを支えるために～

北村 智己¹⁾、近藤 丈二¹⁾、田中 博美¹⁾、和久田直希¹⁾、山口 真美¹⁾、
品川 亜矢¹⁾、松尾理香子¹⁾、永石 恵美²⁾、馬場 史郎³⁾

¹⁾ 長崎大学病院 9階東病棟、²⁾ 長崎大学病院 緩和ケアセンター、

³⁾ 長崎大学病院 脳神経外科

P4-5 終末期にある高校生脳腫瘍患者の自宅療養への希望を支える看護

和久田直希¹⁾、山口 真美¹⁾、品川 亜矢¹⁾、北村 智己¹⁾、近藤 丈二¹⁾、
田中 博美¹⁾、松尾理香子¹⁾、永石 恵美²⁾、馬場 史郎³⁾

¹⁾ 長崎大学病院 9階東病棟、²⁾ 長崎大学病院 緩和ケアセンター、

³⁾ 長崎大学病院 脳神経外科

ポスター 5 「活動と参加」

15:30 ~ 16:10

座長：池田 光代（杏林大学医学部附属病院 リハビリテーション室）

- P5-1** 再発膠芽腫再摘出後に復職を希望した患者に対する作業療法介入
黒崎 空¹⁾、佐々木秀一¹⁾、上田 綾子¹⁾、田口 晴貴¹⁾、茂木茉莉奈¹⁾、
卓島 未来¹⁾、橘 沙弥¹⁾、藤田 理紗¹⁾、柴原 一陽²⁾、隈部 俊弘²⁾
¹⁾ 北里大学病院 リハビリテーション部、²⁾ 北里大学医学部 脳神経外科学

- P5-2** 機能障害が進行する脳腫瘍患者への作業療法
—中断していた仕事の再開に着目した支援が QOL に与えた影響—
佐久間大輝¹⁾、池田 光代¹⁾、山田 深²⁾
¹⁾ 杏林大学医学部附属病院 リハビリテーション室、
²⁾ 杏林大学医学部 リハビリテーション医学教室

- P5-3** 腫瘍治療用電場装置（オプチューン[®]）を用いた膠芽腫患者の復職における課題：症例報告
梅崎 成子¹⁾、野田 真之¹⁾、荻野亜季子¹⁾、北川 陽介²⁾、藤原 清香¹⁾
¹⁾ 東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部、
²⁾ 東京大学医学部附属病院 脳神経外科

- P5-4** 腫瘍電場療法（TTF）のコンプライアンス維持に関与する要因の検討
米持 拓也¹⁾、西山 淳^{1,2)}、野末 恭子¹⁾、菊池 美佑¹⁾、篠原 千昌¹⁾、
プーチアンジェリーナ¹⁾、高橋 雅道¹⁾
¹⁾ 東海大学医学部 脳神経外科、
²⁾ 医療法人 NALU トータルケアガーデン湘南海老名クリニック

- P5-5** 電場療法の開始・継続にむけての当院における支援
武内 勇人、久世 彩歌、阪本 真人、大和田 敬、村上 陳訓
京都第二赤十字病院 脳神経外科

ポスター 6 「回復期」

15:30 ~ 16:10

座長：山崎 有（東海大学医学部附属病院 診療技術部 リハビリテーション技術科）

- P6-1** 巨大髄膜腫 13 症例の（最大直径 5cm 以上）回復期リハビリテーション効果
中清水 睦¹⁾、藤谷 駿介¹⁾、山崎 翔稀¹⁾、山田 美穂¹⁾、川野 将広¹⁾、
長能みゆき²⁾、松谷 雅生³⁾
¹⁾ 原宿リハビリテーション病院 医療技術部 リハビリテーション科、
²⁾ 原宿リハビリテーション病院 看護部、
³⁾ 原宿リハビリテーション病院 診療部 リハビリテーション科

P6-2 脊髄髄膜腫の回復期リハビリテーションの報告白樫 郁美¹⁾、松本 大樹¹⁾、門之園陸斗¹⁾、兵藤 華音¹⁾、松谷 雅生²⁾¹⁾ 原宿リハビリテーション病院 医療技術部 リハビリテーション科、²⁾ 原宿リハビリテーション病院 診療部 リハビリテーション科**P6-3 脊髄上衣腫の回復期リハビリテーションの報告**松本 大樹¹⁾、白樫 郁美¹⁾、門之園陸斗¹⁾、兵藤 華音¹⁾、松谷 雅生²⁾¹⁾ 原宿リハビリテーション病院 医療技術部 リハビリテーション科、²⁾ 原宿リハビリテーション病院 診療部 リハビリテーション科**P6-4 回復期リハビリテーション病棟における就労支援により早期復職に至った再発乏突起膠腫の一例**

谷口 稜

五反田リハビリテーション病院

P6-5 脳腫瘍患者に対する当院リハビリテーションスタッフの教育ニーズと教育介入の効果

高尾 祐輝、多田 建智

一般社団法人巨樹の会 下関リハビリテーション病院

ポスター 7

15:30 ~ 16:10

「家族」

座長：富田 哲也（杏林大学医学部 リハビリテーション医学教室）

P7-1 膠芽腫患者・家族の意思決定支援

ー 予後告知が影響した終末期の過ごし方に焦点を当ててー

坂井 友紀¹⁾、吉田真寿美¹⁾、林 康彦²⁾¹⁾ 金沢医科大学病院 看護部、²⁾ 金沢医科大学病院 脳神経外科**P7-2 チームで行う意思決定支援**浦野 美優¹⁾、大島 早苗¹⁾、小田 陽子²⁾¹⁾ 南福岡脳神経外科病院 看護部 地域包括医療病棟、²⁾ 南福岡脳神経外科病院 看護部 手術室**P7-3 グリオーマ患者と家族が共に歩む ACP への関わり**

ー 外来移行後における対話の場づくりー

宮本 菖¹⁾、織田 睦美¹⁾、服部 知子¹⁾、森川 雅史²⁾、香川 裕哉²⁾¹⁾ 兵庫県立がんセンター 看護部、²⁾ 兵庫県立がんセンター 脳神経外科**P7-4 神経膠腫サバイバー・ケアギバーの当事者主体性を支える Bridge. の取り組み（第2報）**佐藤由紀子¹⁾、齋藤 紀彦²⁾¹⁾ 東邦大学看護学部、²⁾ 東邦大学医療センター大橋病院

P7-5 脳腫瘍患者のための ACP 支援アプリ「わたしの思いナビTM」の開発と評価

札幌 博貴¹⁾、武石 雅代²⁾、佐藤 千鶴²⁾、川谷美智子²⁾、有松 海人¹⁾、
松田 浩幸³⁾、榎井 泰朋¹⁾、秦 暢宏¹⁾、井上 亮⁴⁾、藤木 稔¹⁾

¹⁾ 大分大学医学部 脳神経外科、²⁾ 大分大学医学部附属病院 看護部、

³⁾ 大分大学医学部附属病院 医療情報部、⁴⁾ 大分大学医学部 実践看護学講座

ポスター 8

15:30 ~ 16:10

「周術期」

座長：百田 武司（日本赤十字広島看護大学 看護学部）

P8-1 脳神経外科病棟に勤務する看護師のインフォームド・コンセント同席への意識変容

伊藤 美悠、岩本恵利子、小原 彩愛、倉光 祐子

秋田大学医学部附属病院

P8-2 外科的治療前の神経膠腫患者における精神症状と疲労感・ADL との関連

田中かなで¹⁾、馬場 千夏¹⁾、堀川陽一郎¹⁾、重松 謙太¹⁾、村上 優奈¹⁾、
西田野百合¹⁾、前田 暁美¹⁾、山脇 理恵¹⁾、池口 良輔²⁾、峰晴 陽平^{3,4)}、
荒川 芳輝³⁾

¹⁾ 京都大学医学部附属病院 リハビリテーション部、

²⁾ 京都大学医学部附属病院 リハビリテーション科、

³⁾ 京都大学大学院医学研究科 脳神経外科学、

⁴⁾ 京都大学大学院医学研究科 健康医療DX講座（産学共同）

P8-3 神経膠腫術後回復期における個別性のある看護計画と実践を目指した取り組み
～トータルケアカンファレンスの実施率上昇と内容の充実を通して～

塚本奈津美、西田 美紀、神藤 亜伊、宇納 条利、早川みどり

名古屋大学医学部附属病院 7E 病棟

P8-4 悪性脳腫瘍患者における多職種カンファレンスの見直しと患者参加型
カンファレンス導入に向けた取り組み—実践報告

猪野雄太郎¹⁾、村中 恵美¹⁾、佐藤友貴絵²⁾、名倉 綾乃²⁾、馬城はるか³⁾、
飯倉 佑介⁴⁾、伊丹優貴子⁵⁾、大村 朋子⁶⁾、早坂 紀子¹⁾、下倉 美穂¹⁾、
宮北 康二⁶⁾

¹⁾ がん研究会有明病院 看護部、²⁾ がん研究会有明病院 医療連携部、

³⁾ がん研究会有明病院 リハビリテーション部、⁴⁾ がん研究会有明病院 薬剤部、

⁵⁾ がん研究会有明病院 栄養管理部、⁶⁾ がん研究会有明病院 脳腫瘍外科

P8-5 杏林大学病院脳神経外科病棟における Advance Care Planning 関連自己
記入式質問票の回答実態に関する記述的研究

～脳腫瘍患者を対象とした取り組み～

飛崎 春花、友田 浩貴、常田 麻奈、藤井 結羽

杏林大学医学部附属病院 脳神経外科病棟

ポスター 9 「在宅」

15:30 ~ 16:10

座長：辻川 将弘（杏林大学医学部附属杉並病院 リハビリテーション科）

P9-1 機能障害のある悪性脳腫瘍患者の在宅療養への移行を促進する看護支援内容

小林 寛子^{1,2)}、恩幣 宏美³⁾、高尾 鮎美⁴⁾¹⁾ 大阪医科薬科大学大学院看護学研究科 博士後期課程、²⁾ 関西医科大学看護学部 研究員、³⁾ 新潟県立看護大学、⁴⁾ 大阪公立大学看護学部

P9-2 膠芽腫患者の自宅療養実現に向けた自立度指標の検討

—初期治療後 Barthel Index カットオフ値の同定—

眞鍋 朋誉¹⁾、甲元虎太郎¹⁾、田中 琳良¹⁾、大浦 敦樹¹⁾、松永 一真¹⁾、
森田 伸¹⁾、小松原悟史²⁾、三宅 啓介³⁾¹⁾ 香川大学医学部附属病院 医療技術部 リハビリテーション部門、²⁾ 香川大学医学部附属病院 リハビリテーション科、³⁾ 香川大学医学部 脳神経外科

P9-3 悪性脳腫瘍における地域連携型支持療法の実践と検討：61例の経験

西山 淳^{1,2,3,4)}、篠原 千昌⁴⁾、菊池 美祐⁴⁾、米持 拓也⁴⁾、野末 恭子⁴⁾、
堀江 修³⁾、尾崎 聡^{1,2)}、高橋 雅道⁴⁾¹⁾ 医療法人社団 NALU トータルケアガーデン湘南海老名クリニック、²⁾ 医療法人社団 NALU えびな脳神経クリニック、³⁾ 医療法人社団 杏月会 伊勢原駅前クリニック、⁴⁾ 東海大学医学部 脳神経外科

P9-4 遠隔モニタリング式運動システムの導入が脳腫瘍術後患者の運動継続と QOL 向上に及ぼす影響

村岡 法彦¹⁾、呂 隆徳¹⁾、大田 哲生^{1,2)}¹⁾ 旭川医科大学病院 リハビリテーション部、²⁾ 旭川医科大学病院 リハビリテーション科

P9-5 脳腫瘍患者のオンライン診療 D to P with D

貞廣 浩和^{1,2)}、石原 秀行^{1,2)}¹⁾ 山口大学医学部附属病院 脳神経外科、²⁾ 山口大学医学部附属病院 地域遠隔医療センター

閉会式

16:10 ~ 16:15

山田 深（杏林大学医学部 リハビリテーション医学教室）